



二  
月

# パストラル尼崎

如  
月

No.83平成31年1月25日  
〔編集・発行〕  
パストラル尼崎  
尼崎市潮江1丁目10-2  
Tel. 06-6493-0521  
Fax. 06-6493-0301  
発行責任者：山本 弘樹

## ◆最近の話題◆

### 「1970年の大阪万博ゾウの大作進」

昨年、パリの総会で、2025年の万国博覧会が大阪で開催することが決定。大阪では55年ぶりとなるそうです。

「こんにちは♪こんにちは♪」南春夫が歌う「世界の国からこんにちは」が街中に流れ、日本中が沸いた1970年の大阪万博。その盛り上げ役として、タイ国から16頭のゾウが、はるばる船で神戸港に到着。そこから、歩いて大阪府吹田市の万博会場へ大作進した事はご存知でしょうか。(汗)

ゾウ達は、神戸港を出発して、拡幅したての国道171号線をゆっくり行進。道中には、大勢の家族連れや、プールから飛び出してきた水泳パンツ姿の児童、銃を肩にかけた自衛隊員、子どもを肩車してゾウと並走する父親など、数千人もの見物人が押し寄せたとあります。群れの最後尾には、船内で生まれた赤ちゃんがゾウが、チョコチョコついていく姿が可愛かったそうですよ。

ところが、西宮と尼崎の市境付近にさしかかったとき、暑さと慣れないアスファルトで四頭が足を痛め、武庫川の甲武橋下あたりで野営する事に。水を見た途端、足取りが軽くなり、大好きな水浴びや川原で草を食べたりと、ようやく元気を取り戻したゾウ達は、翌日行進を再開。尻尾を振り周囲の歓声に応えながら無事、会場に着いたそうです(笑)



武庫川で休憩中のゾウ

イベントに出演した2週間、ゾウ達は山田の竹林で野営したそうですが、水道蛇口が一つしかなく、喉の乾いたゾウが、会場内の池に突進したり、隣の竹林を食へ始めてしまうハプニングがあったそうです。「実際に見たわ」という方、当時の様子を是非、お聞かせ下さいね。

## 「白い巨塔」のモデル医師

前回のシニア大学講師、尼崎中央病院の副院長、安村先生の講義後のお話をきっかけに・・・

浪速大学を舞台に、財前五郎と里見脩二という対照的な2人の医師を通し、医局制度や医療訴訟を描いた山崎豊子作、「白い巨塔」の主人公、財前五郎のモデルが豊中市に実在していたとか。その名も「神前(こうさき)五郎」阪大医学部第2外科元教授。

小説はフィクションなので、山崎豊子の主治医だった事で名前と地位を借りたのだとか。実際は、どちらかと言えば学究肌の「里見先生」タイプの優しい方だったそうです。

過去の記事に「白い巨塔モデル医師、根拠なき、がんもどき理論を撤回せよ!」という見出しが目に飛び込んできました。神前五郎元教授が、その頃メディアで脚光を浴びていた「がん放置療法のすすめ」の著者、近藤誠医師に「がん患者のためにならぬ!」と、真っ向から論戦を挑んだというのです。すでに御年94歳。

実際に、2時間半におよぶ直接対決が行われたとあります。94歳という自らの限られた時間を見据えながら、最後まで医師として使命を果たさんとしていた神前元教授。その姿勢に感動です(泣)



## 平成30年度

# パストラルシニア大学



パストラルシニア大学も4年目。今年度も多彩な講師をお迎えし、内容も充実しています。毎回、講師陣からその受講姿勢を絶賛されている皆さま。今年も皆勤賞めざして頑張りましょう。

- \* 毎回フロントにお申込み下さい(席に限りがあります)
- \* 当日は、学生証も忘れずに!

## 【第9回講座】

### 「貨幣の歴史について」

- ・日時: 2月15日(金) 14時～
- ・場所: 多目的ホール
- ・講師: 元、造幣博物館館長  
西 正 氏

造幣博物館の元館長である西さんに、興味深い貨幣の歴史のお話と、実際の大判、小判や硬貨をくり抜いたあとのシスルなど、貴重な資料をご覧頂きます。是非ご参加下さい。

